

2024 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況 (2023 年度年次報告書) の概要

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略」(2021-2023) に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に御報告するとともに、公表を行う。

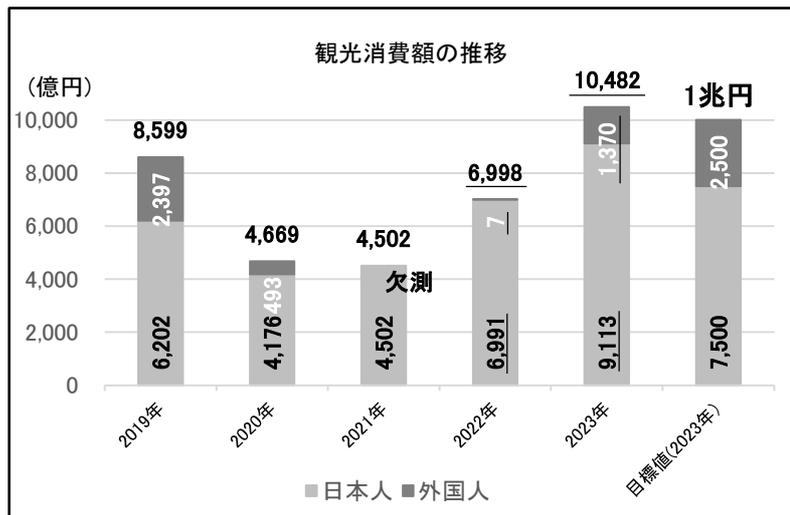
第 1 数値目標の達成状況

2023 年の本県の観光は、日本人旅行者については、コロナ禍からの回復傾向が鮮明となり、特に観光消費額はコロナ禍前の 2019 年を大きく上回った。一方、外国人旅行者については、観光消費額、観光入込客数とも 2019 年の水準には戻らなかった。

(1) 観光消費額 (本冊 4 頁)

外国人の観光消費額は低迷したものの、日本人の観光消費額はコロナ禍前の 2019 年を大きく上回り、全体として目標値を達成した。

日本人旅行者について、県外在住者の観光消費額の伸び幅が県内在住者に比べて大きいことから(下表)、行動制限がなくなり、県境を越える移動が活発化したと推察される。



※数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

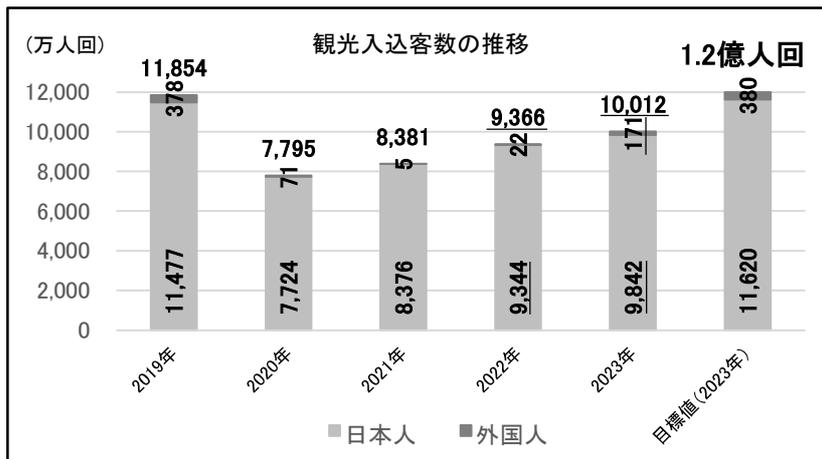
【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

	2022 年(百万円)	2023 年(百万円)	2023/2022 年比
県内在住者・宿泊	126,838	89,012	0.70 倍
県内在住者・日帰り	206,117	235,531	1.14 倍
県外在住者・宿泊	265,152	406,045	1.53 倍
県外在住者・日帰り	100,955	180,708	1.79 倍
訪日外国人・宿泊	749	135,577	181.0 倍
訪日外国人・日帰り	—	1,373	—

(2) 観光入込客数【量】(本冊 5 頁)

観光入込客数は、日本人、外国人とも前年を上回ったが、ともに目標値には達しなかった。

外国人の回復の遅れに加え、日本人も、構成割合が大きい県内在住者の日帰り入込客数が、コロナ禍前の 2019 年の 84%程度にとどまった。

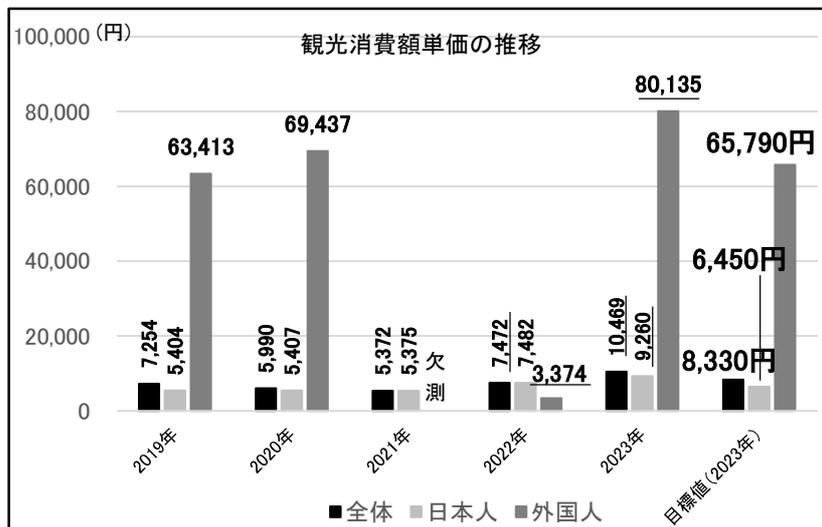


※数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

(3) 観光消費額単価【質】(本冊 7 頁)

観光消費額単価は、日本人、外国人とも目標値を達成した。

特に外国人については、目標値を大きく上回った。円安の進展に加え、物価の高騰も影響したと推察される。



第 2 2023 年度の主要な観光振興施策の実施状況 (抜粋)

柱 1「あいち『ツウ』リズムの推進」

2023 年の大河ドラマ「どうする家康」の放送にあわせて、県内の武将にまつわる観光施設を周遊するデジタルスタンプラリーや、岐阜県、静岡県との連携による周遊キャンペーンを実施するなど、大河ドラマを活用した誘客促進に取り組んだ。

また、市町村や地域観光協会等との意見交換を通じて、地域の観光資源の発掘等を行い、観光プログラムを造成して、新たに開設した予約サイト「旅ろっ！愛知」に掲載することで、販売につなげた。

さらに、フランス・パリで開催されたヨーロッパ最大級の日本文化を広く紹介するイベント「Japan Expo」に出展した。知事によるトッププロモーションの実施等により、愛知の観光の強みである歴史・伝統文化やポップカルチャー等を PR し、認知度向上と誘客促進を図った。

柱2「受入れ体制の整備・充実」

アジア・アジアパラ競技大会の開催を見据え、ネイティブライター等を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成した。

また、高級ホテル立地促進事業で立地が実現した「TIAD, AUTOGRAPH COLLECTION」に対して、補助金を交付した。さらに、宿泊事業者が実施する、宿泊施設のリノベーション等、高付加価値を図る取組に対して、補助金を交付した。

柱3「観光交流拠点としての機能強化」

ジブリパークチケット販売サイト内に開設した、来園者向け観光情報等発信特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」において、観光プログラム等を紹介した。

また、アジア・アジアパラ競技大会の開催を見据えて、東アジア地域の旅行会社向けプロモーションや、一般旅行者向け情報発信を実施した。

柱4「MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）の活用」

本県で初めて開催された、日本と台湾の旅行業界・観光業界トップが集う「2023日台観光サミット in 愛知」において、県主催で歓迎晚餐会や昼食・夕食交流会、エクスカージョンを実施し、愛知の多彩な観光資源を紹介するとともに、相互交流を深めた。

また、世界最大級の旅の祭典である「ツーリズム EXPO ジャパン」の本県開催に向けた誘致活動を実施し、2025年のAichi Sky Expoでの開催につなげた。

柱5「持続可能な観光の実現」

愛知県「休み方改革」プロジェクトの一つとして、観光需要の平準化の促進に向け、混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」等を実施した。

第3 2024年度の主要な観光振興施策（抜粋）

2024年度からは、新しい観光振興基本計画「あいち観光戦略 2024-2026」の目指すべき姿「『さすが』と言いたくなる『観光県・あいち』」の実現に向け、「地域資源の観光コンテンツ化」「PR・プロモーション」「受入環境の整備」「観光地経営体制の強化」「MICEの誘致・開催に向けた取組強化」の5つの展開分野で施策を実施する。

2024年度は、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等を目的としたコンテンツ造成の支援や、5月に関係者とともに設立した「愛知『発酵食文化』振興協議会」の事業を通じて、発酵食文化の振興及び国内外への魅力発信を行い、外国人旅行者の誘致を図る。

また、愛知県「休み方改革」プロジェクトの推進に向け、「あいちスキ旅キャンペーン」等、観光需要の平準化に向けた取組を実施するほか、観光関連事業者の労働生産性向上に向けた業務改善の支援も行っていく。

さらに、来年度の「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の成功に向け、7月に、地元の行政、関係団体とともに設立した開催地連絡協議会を中心に、主催者の支援等を実施していく。